

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 11月号

令和5年11月2日

校長 大越 敏孝



令和5年度 『運動会』 ～強い絆と努力で新しい未来へ～

すがすがしい秋晴れの空の下、たくさんの皆様にご来校いただき、令和5年度の運動会を開催することができました。

これまでの運動会は、コロナ禍により様々な制限の中で開催せざるを得ませんでした。だからこそ、今年度は「こんな運動会にしたい」という児童の思いを大切に、話し合いで出た意見を基に運動会を計画しました。赤組・白組の分け方、総合得点や優勝・準優勝の有無など勝ち負けのあり方、係や競技、選抜や団体など種目のあり方について各クラスで意見を出し合い、教職員も共に考えながら運動会を計画していきました。そして、今年度は各クラス内で赤・白に分かれ、各学年とも演技と競走、団体競技の3種目を行うことになりました。また、全校でできる種目をしたいという意見から、団体種目の「大玉送り」も行うことになりました。「なかよしのわ」(異学年交流)の時間に、1～6年生で運動会にかけの思いを言葉にして作った入退場門も、運営委員会の子もたちを中心とした初めての活動でした。



1・2年生「ダンス・ダンス・ダンス(ツバメ・アイドル)」

笑顔とエールが届きますように。金銀のリボンが鮮やかな鳴子でリズムを刻んで踊りました。



3・4年生「ダイナミックに♪ちばりよー」

前半は楽しく元気よく！後半は、「イヤァーサーサ！」と力強くかっこよく!! 手作りのパーラックで太鼓の音が響きます。

運動会当日は、赤組・白組とも、一人一人の子どもたちが自分なりに最後まで頑張る姿をたくさん見ることができました。そして、それぞれの競技の中で、お互いの頑張りをたたえあい、勝敗に関わらず互いに声援や拍手を送る姿も見られ、とてもうれしく思いました。5・6年生が運動会の係活動で、自ら考えて活動する姿や低学年に優しく接する様子にも感心しました。

子どもたちの輝く姿がたくさん見られた運動会。「強い絆と努力で新しい未来へ」という、今年度の汐見台小学校のスローガンにある通り、未来に向かって一步を踏み出す運動会になったのではないかと思います。

地域・保護者の皆様には、子どもたちへの温かいご声援をたくさんいただきました。また、汐見台小PTAの皆様・運動会ボランティアの皆様、汐見台小推進協 はじめ あいさつ見守り隊の皆様には、ご支援とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



5・6年生「汐小ソーラン」

みんなの視線が注がれる中、静まりかえった校庭にソーラン節の音が響きます。みんなの気持ちを一つにして、一人一人が全力を出し切って踊りました。



全校で食べた『汐小米（しおしょうまい）』!!

～脱穀・粃すり・精米～



10月20日（金）に、はざかけしていた稲を脱穀しました。汐見台小学校には、昔の人が人力で使っていた足踏み脱穀機もありますが、昨年使ってみたところ、上手く脱穀できずに苦戦しました。そこで今回は、これまで米作りをご指導いただいている島崎さんのご紹介もあり、なぎさ事務所にお勤めの平本さんをお願いをして、脱穀機などの農機具を使わせていただくことにしました。

初めに学校の中庭あたりに脱穀機を置いて作業を始めました。5年生が、稲を一束ずつ持って並び、順番に平本さんに渡して脱穀機に入れていきます。脱穀して稲穂から分離した粃（もみ）の重さは約33.9kg。昨年は、もち米ではありましたが17.4kgの収穫だったので、それを大きく上回りました。



次に行うのは、粃すりです。粃すりは粃から粃殻（もみがら）を除去して玄米にする作業です。これも粃すり機を使って行いました。脱穀した粃が玄米になっていく様子を子どもたちも興味深く見ていました。

最後は、玄米から、糠（ぬか）と胚芽（はいが）を取り除く精米（せいまい）です。ここでは精米機を使って、白米にしました。乾燥の具合によって割れてしまう米粒もありましたが、食べるのには全く問題ありません。精米後の重さは約21.

2kg。汐見台小学校で児童・教職員が食べるために必要な1回分のお米の量を確保することができました。

10月26日（木）の給食では、『汐小米』として「はるみ」の新米を全校でいただくことができました。炊飯器を開けると新米のよい香りがします。子どもたちは、「お米がきらきらしてる」「もちもちしてる!」「味がある!」「あまい!」と笑顔で感想を伝えてくれました。



自分たちの米作りを振り返りながら、嬉しそうに食べている5年生の表情が印象的でした。1年生も代掻きに頑張ってくれました。6年生も昨年の米作りを思い出しながら食べていたことと思います。食べ物を一から育て、収穫したものを食べることは、子どもたちにとって貴重な体験です。一粒のお米の大切さにも気づく、大切な食育の機会にもなりました。



教職員の退任と着任のお知らせ



心の教育相談員の岩間茂樹が9月末で退任し、後期（10月12日）より「徳竹 則子（とくたけ のりこ）」が着任いたしました。ほかほかルームで児童の相談を受け付けます。どうぞよろしくお願いいたします。